

事務事業評価シート(事後評価)

事務事業名	結婚推進事業				担当課名	総合政策課	
政策名	該当政策なし				担当係名	総合政策係	
施策名					課長等名	佐藤 一	
施策細項目名					担当者名	榎森 正典	
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返		開始年度	平成 11	年度から	
	<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度		開始年度		年度から	年度まで
法令根拠、条例等	法令等なし						
事務事業の概要	事務事業の内容		町内に居住又は勤務している男女や町外に居住する女性を対象として、いろんな方と出会っていただくきっかけ作りの場を提供する「出逢いのフェスタ」を開催している。				
	業務の内容 (職員が行っている内容)		出逢いのフェスタの案内、参加者取りまとめ、フェスタの開催、連絡カードに記載された情報の通知				
	事業費の費目		需用費(当初60千円を計上したが、開催できなかったため支出額なし)				
	これまで行ってきた改革改善内容		出逢いのフェスタ開催する際、振興公社や民間等と連携を行った。				

1、現状把握の部(DO)

(1)事務事業の目的と指標
手段(主な活動)

出逢いのフェスタの開催(参加者が少なかったため、未開催)
対象(誰、何を) 結婚を希望する独身男女
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 結婚希望者と出逢ってもらう。 結婚してもらう。
結果(どんな結果に結びついているのか) 独身男女割合が減少し、定住人口が増加する。

活動指標(活動を表す指標)	単位
ア 出逢いのフェスタの開催回数	回
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
ア 20才～50才までの独身男性数(h17国勢調査)	人
イ 20才～50才までの独身女性数(h17国勢調査)	人
ウ	
成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
ア 出逢いのフェスタへの参加者数	人
イ 出逢いのフェスタ参加者同士で結婚した組数	組
ウ	

(2)指標の推移

区分	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(目標)
活動指標	ア 回	1	1	-	1	
	イ					
	ウ					
対象指標	ア 人	1,772	1,772	1,772	1,772	
	イ 人	1,153	1,153	1,153	1,153	
	ウ					
成果指標	ア 人	20	26	-	30	
	イ 組	-	-	-	-	
	ウ					

(3)総事業費の推移

区分	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(目標)
特定 財源	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	68	80	-	120	
	一般財源	71	90	-	30	
事業費計	千円	139	170		150	

(4)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和54年ごろ、過疎の解消並びに農村における後継者の配偶者確保を図るため結婚相談員が設置された。しかし結婚相談員が仲介した結婚が年々減少してきたため、旧会津高田町で平成11年度に農業後継者だけでなく、一般サラリーマン家庭も対象として人口増加と若者定住ができるようなまちづくりをすすめるため結婚推進係が設置された。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成16年10月に結婚推進係が廃止となった。 20才～50才の独身男性割合は増加傾向(h12:42% h17:46.9%)であるが、出逢いのフェスタへの参加者は固定化してきており、年々男性参加者の平均年齢と女性参加者の平均年齢に開きができてきている。 個人の結婚観や価値観が変化し、お見合い形式を好まない傾向であったが、h21年になって婚活が話題となっている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見が寄せられているか?	結婚適齢期を過ぎてても多くの男性が結婚相手が見つからない状況の中で、どのような対策を講じる考えがあるのか[平成21年3月議会]

事務事業名	結婚推進事業	担当課	総合政策課
-------	--------	-----	-------

2、評価の部(SEE) 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	政策体系との整合性	この事務事業の意図は結果(政策体系)に結びついていますか？	理由	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 結婚推進事業は、政策体系に位置付いておらず、結婚推進対策を今後も町が取り組むのか、取り組むのであればどの政策・施策に位置づけて、事業を行うか、第2次振興計画策定の中で検討する必要がある。
	公共関与の妥当性	なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を使って達成する目的ですか？	理由	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 結婚は個人の意識の問題であり、行政が仲介し結婚まで至っても将来まで責任は持てないのが現状である。さらには民間で結婚情報をビジネスとして事業展開している。
	対象と意図の妥当性	対象と意図を見直す必要がありますか？対象と意図の範囲を拡大、縮小する必要がありますか？	理由	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象については、結婚を希望する独身男女以外に拡大する余地はないが、年齢の幅を縮小し重点的に取り組む余地はある。意図については、まずは出逢いの場を提供し、恋愛感情が発展していくことによって結婚に至ることから妥当である。
有効性評価	成果の向上余地	やり方や進め方を変えることで成果を向上させることができますか？	理由	<input type="checkbox"/> 向上余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 出逢いのフェスタを年に1回しか開催していないため、結婚推進事業の見直しをすることで、成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	事務事業を廃止・休止した場合に影響はありますか？	理由	<input type="checkbox"/> 影響有り <input checked="" type="checkbox"/> 影響なし 結婚は個人の意識の問題であり、結婚推進事業を廃止したとしても影響はない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	類似の目的や形態を持つ他の事務事業との統廃合や連携を行うことができますか？	理由	<input type="checkbox"/> 他に手段があり、統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段はあるが、統廃合・連携はできない 結婚を推進する事業は他になく、出逢いのフェスタについては振興公社や民間等と連携を行って開催している。
効率性評価	事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減する方法はありますか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	理由	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 出逢いのフェスタ開催に伴う事業費で、事業費の内容は個人の飲食費補助を行っているため、参加費を増額することで削減の余地がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	やり方を工夫して延べ業務時間を削減する方法はありますか？	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 出逢いのフェスタ開催に関する事務を必要最低限の時間で実施しており、削減の余地はない。
	公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平になっていませんか？受益者負担を見直す必要はありますか？	理由

3、評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1)1次評価者としての評価結果			
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
(2)今後の事業の方向性(改革改善案)			(3)改革改善による期待効果(廃止・休止の場合は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、有効性の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、有効性の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性の結果) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性、の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで改革改善をしない)			コスト
評価に基づいた改革・改善案を記入します。			削減 維持 増加
21年度の改革改善案		次年度以降の改革改善案	
出逢いのフェスタ開催に当たっては食糧費への補助を廃止し、宣伝広告を強化するとともに、参加費を増額し、事業費の削減を図る。		結婚は個人の意識の問題であり、さらには民間で結婚情報をビジネスとして事業展開していることから結婚推進対策事業の廃止。	
		向上	
		維持	
		低下	
(4)改革・改善(案)を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策			
毎年開催していた事業であり、今まで参加していた方は開催を期待していることが予測される。参加者の負担が増加するため、より一層、参加人数が減少すると思われる。			

事務事業名	結婚推進事業	担当課	総合政策課
-------	--------	-----	-------

4、事務事業の2次評価結果

(1) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性 適切 見直し余地あり 有効性 適切 見直し余地あり
 効率性 適切 見直し余地あり 公平性 適切 見直し余地あり

(2) 評価結果の根拠と理由

以前は、奨励金制度もあったが、仲介することについて好まない傾向である。また、出会いの場を提供しても、実際の婚姻に結びつくまで、調査・把握することは、個人情報に関係もあり困難である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)

- 廃止(目的妥当性、有効性の結果) 休止(目的妥当性、有効性の結果)
 目的再設定(目的妥当性、の結果) 事業統廃合・連携(有効性の結果)
 事業のやり方改善(有効性の結果) 事業のやり方改善(効率性、の結果)
 事業のやり方改善(公平性の結果) 現状維持(従来通りで改革改善をしない)

(4) 改革改善による期待効果(廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加

評価に基づいた改革・改善案を記入します。

成果	向上			
	維持			
	低下			

(5) その他2次評価会議で指摘された事項

未婚者対策と定住化の課題は残るので、第2次振興計画策定の中で議論する必要がある。